

「スカッと ○○小学校！」シナリオ

【 1の場面 プロローグ 】

子ども (1～5)	★子ども1～5が登場する。
子ども (1～5)	「スカッと○○小学校！」
子ども1	「みなさんは、学校の中でモヤモヤとすることがありませんか？」
子ども2	「今日は、そんなモヤモヤをスカッとさせる劇を考えました！」
子ども3	「子ども劇団のみんなでがんばって劇をしますので、」
子ども4	「どんなお話か、楽しんで見てください。」
子ども5	「それでは、はじまりはじまり～！」
子ども (1～5)	★子ども1～5が退場する。

【 2の場面 モヤモヤと 】

子ども6・7	★子ども6・7がお菓子を食べながら遊んでいる。お菓子の袋をポイっと捨てる。
子ども8	「そんなところにお菓子の袋を捨てちゃダメだよ。」
子ども6	「何だよ。おまえには関係ないだろ！」
子ども7	「そうだよ！行こうぜ！」
子ども6・7	★子ども6・7が退場する。
子ども8	★お菓子の袋をひろう。 「モヤモヤっ！」 ★子ども8が退場する。
子ども9・10	★子ども9・10が、机といすを持って登場する。
子ども9	★子ども9が椅子の上に乗って、ふざけている。
子ども10	「授業中だよ。ふざけないで、ちゃんとしてようよ！」
子ども9	「何だよ。関係ないだろ！いい子ぶるなよ！」
子ども10	「モヤモヤモヤモヤっ！」
子ども9・10	★子ども9・10が、机といすを持って退場する。
子ども11・12	★子ども11・12が登場する。

子ども 1 1 「ねえねえ。ひろこちゃん、男の子たちからいじわるなことされてるよね。何とかできないかなあ。」

子ども 1 2 「えー。いいよ。関わったら今度はわたしたちが何かされるよ。関係ないから、知らんぷりしていようよ。」

子ども 1 1 「うーん…。モヤモヤモヤモヤモヤモヤっ！」

子ども 1 1・1 2 ★子ども11・12が退場する。

ナレーター 1 「みなさんは、こんなモヤモヤとした気持ちになったことはありませんか？」

ナレーター 2 「友だちをモヤモヤとした気持ちにさせていませんか。」

ナレーター 3 「そんなある日、バングラデシュという国から、アラムさんという留学生が学校に来てくれました。」

【 3の場面 アラムさんとの出会い 】

★子どもたちが机とイスを持って、ステージに教室のように並ぶ。
★アラムさんは、教卓をピアノの前に持ってくる。

アラムさん 「みなさん、こんにちは。バングラデシュから来たアラムと言います。みなさんは、バングラデシュという国がどこにあるか知っていますか？」

子ども 1 3 「知りません。どこにあるんですか。」

アラムさん ★スライドを見せながら話す。
「わたしが生まれたバングラデシュという国は、地図で言うと中国の南、ミャンマーとインドと近くににあります。シンガポールやタイのバンコク、中国の香港などで飛行機を乗り継いで、13時間くらいで着きますよ。」

子ども 1 4 「結構、遠いんですね。」

子ども 1 5 「はい。アラムさん。バングラデシュってどんな国なんですか？」

アラムさん ★スライドを見せながら話す。
「バングラデシュには、大きな川がたくさんあって、川の国と呼ばれています。きれいな自然がいっぱいで、きれいな建物もたくさんあります。町の中では、自転車で客車をつけたリキシャという乗り物に乗れますよ。6月から10月は、モンスーンといって大雨が降ることがあります。でも、みんな全然慌てませんよ。すぐに水は引きますから。」

子ども 1 6 「はい。アラムさん。バングラデシュでは、どんな食べ物を食べま

<p>アラムさん</p> <p>子ども 17</p>	<p>すか？」</p> <p>★スライドを見せながら話す。</p> <p>「みんなカレーが大好きです。いろんなカレーがあります。みんなが知ってる『ビーフカレー』や『チキンカレー』のほかに、『たまごカレー』や『キャベツカレー』、ひつじの肉を使った『マトンカレー』などがあります。どれもおいしいですよ。」</p> <p>「おいしそう。食べてみたいです。」</p>
<p>子ども 18</p> <p>アラムさん</p>	<p>「はい。アラムさん。バングラデシュにも<small>しょうがっこう</small>小学校はあるんですか？」</p> <p>★スライドを見せながら話す。</p> <p>「ありますよ。でも、日本の学校とは少し違っていて、小学校が5年間、中学校が5年間、高校が2年です。でも、家の手伝いで学校に行けない子どもたちもたくさんいます。そんな子どもたちは、いつも学校で勉強<small>おも</small>したいって思っています。」</p>
<p>子ども 19</p> <p>アラムさん</p>	<p>「はい。アラムさん。バングラデシュでは、どんなスポーツが人気があるんですか？」</p> <p>★スライドを見せながら話す。</p> <p>「バングラデシュでは、カバディというスポーツが人気があります。1チーム7人で、攻撃側の一人が、コートの中で相手チームの何人捕まえるかで点数が決まります。カバディは、ワールドカップもあるんですよ。もちろん、日本でもカバディ大会が行われていますよ。」</p>
<p>子ども 20</p> <p>アラムさん</p>	<p>「はい。アラムさん。日本に来て、一番つらかったことはどんなことですか？」</p> <p>「うーん。そうだな。ぼくが一番つらかったのは、『関係ないだろ』と言われたことです。アパートの近くの川に空き缶を捨てている子どもに『そこにすてちゃだめだよ。』と声をかけたら、『関係ないだろ！』と言われました。ほかにも、電車の中で迷惑<small>めいわく</small>なことをしている人に注意したら、『おまえには関係ないだろ！』と言われました。バングラデシュにも「関係ない」っていう言葉はあるけど、まちがったことをして注意されたときに『関係ないだろ。』っていう人<small>ひとり</small>一人もいません。」</p>
<p>子ども 21</p>	<p>「どうしてバングラデシュの人は、『関係ないだろ。』って言わないんですか？」</p>
<p>アラムさん</p>	<p>「それは…、みんな『関係ある』からです。ぼくが育ったバングラ</p>

デシュでもいじめはあるけれど、日本のようにひどくなることはありません。弱い者いじめや仲間はずしをするような人は、どんどん人気がなくなって、誰からも相手にされなくなります。バングラデシュでは、一人ぼっちになるのはいじめられる方じゃなくて、いじめる方なんです。みなさんは、どう思いますか？

子ども 2 2 「わたしも、『関係ないだろ。』って言われていやな気持ちになったことがあります。」

子ども 2 3 「ぼくは、友だちがいやなことされているときに、自分がされたくないから『関係ない。』って知らんぷりしてしまったことがあります。」

子ども 2 4 「はい、アラムさんが住んでいるバングラデシュと日本とは、いろんな違いがあるけど、アラムさんの言っていることが正しいし、あたりまえだと思います。」

子ども 2 5 「うん。だって、関係あるもんね！」

子どもたち 「うん、うん！」

アラムさん 「このクラスにも、『関係ないだろ。』っていう人がいるんですか。」

子ども 2 6 「はい。ぼくは今までよく『関係ないだろ。』って言ってたけど、今日アラムさんの話を聞いて、なんか自分がかっこ悪いなって思いました。」

子ども 2 7 「わたしもです…。」

子ども 2 8 「うん！みんな関係あるから、みんなで何とかしようって考えた方がきっと楽しくなるよね。」

子どもたち 「うん！」

アラムさん 「みんな、ありがとう！じゃあ、これからみんなでカバディしてみない？」

子どもたち 「やったー。」 「行こう！行こう！」

★全員退場する。スライドで、スカットを映す。

【 4の場面 エピローグ 】

★全員がステージ上に並ぶ。

ナレーター 4 みなさん、劇はどうでしたか。この小学校には、「関係ないだろ」
って言っている人はいませんか。

ナレーター 5 自分がふざけたり、いけないことをしているのに、人にばかり注意
している人はいませんか。

ナレーター 6 これから自分がどうしなければいけないか、一人ひとりがしっかりと
考えて行動していきましょう。

ナレーター 7 そうすれば、もっともっと楽しい学校になるとおもいますよ。

ナレーター 8 これで、子ども劇団プレゼント「スカッと〇〇小学校！」の劇を
終わります！れい。」

★全員で礼をする。